

# 林業経済学会 2013 年秋季大会の開催と発表申し込みのご案内

林業経済学会 2013 年秋季大会を、下記の通り開催いたします。

【日時】 2013 年 11 月 8 日（金）～11 月 10 日（日）

【場所】 高知大学朝倉キャンパス（高知県高知市曙町二丁目 5 番 1 号）

【日程】

11 月 8 日（金） 各種委員会（編集委員会、表彰委員会など）、評議員会、理事会

11 月 9 日（土） テーマ別セッションおよび自由論題報告、懇親会

11 月 10 日（日） テーマ別セッションおよび自由論題報告

※大会参加費は、一般会員 1,000 円、学生会員 500 円です。

※詳細なプログラムは、『林業経済研究』59 巻 3 号でお知らせします。発表要旨は、学会ウェブページに掲載いたしますので、各自でダウンロードください。

※宿泊場所・交通手段等については、各自で確保ください。

## 大会で報告予定の方へ

- (1) 発表のお申し込みは、別紙の内容にしたがって、電子メール、郵送、FAX で、8 月 10 日（土）必着でお送りください。申し込みの書式は、学会ウェブページ・特設ウェブページからもダウンロードできます。
- (2) 報告筆頭者は、原則として会員に限ります（特別に学会が認めた場合を除く）。報告を予定している非会員の方は、早急に「入会申込・異動連絡書」を提出し、会費納入など所定の手続きをとってください。
- (3) 1 件あたりの発表・質疑応答時間は、30 分程度を予定していますが、申し込み件数により調整いたします。
- (4) テーマ別セッションは、別記のとおり 3 テーマを設定しております。ただし、応募者の人数などによって、各コーディネーターと協議の上、セッション間や自由論題との間で移動していただくことがございます。
- (5) 発表時に使用できる機材は、液晶プロジェクタです。

## 2013 年秋季大会 お問い合わせ・お申し込み先（担当：松本美香）

〒783-8502 高知県南国市物部乙 200 高知大学農学部森林経営学研究室

電話・FAX 088-864-5145（直）

電子メール 2013\_fall@jfes.org

## テーマ別セッション

### A テーマ「林業における組織・制度改革の動向、背景、目指すもの」

【趣旨】近年、世界各国で林業関連の組織・制度に変革が起きている。その背景には、林業や木材加工の技術変化とそれに伴う主体間の力関係の変化、資源状況、私有林所有者の性格、森林に対する社会的要請、および産地間競争力の変化などがあるだろう。各主体がそれぞれの目指すところにしたがって改革を行い、それがまた他の主体に影響を与えて新たな関係の形成に向かう。本セッションでは、国内外の事例に基づいて、こうした林業における組織イノベーションの動向や背景と、その中で政策や各主体が何を目指しているのかについて議論したい。

【コーディネーター】岡裕泰、石崎涼子（森林総合研究所）

【電話】029-829-8324

【電子メール】oka@ffpri.affrc.go.jp

### B テーマ「山村に住むことについて考える」

【趣旨】山村や漁村など周辺地域の暮らしは、地域の恵みを収穫し、それらを育てていくという日々の営みのなかで支えられてきた。地域の資源を利用し、地域の暮らしを守ろうとする取組は地域住民のネットワークのうえに成り立っている。取組の活性化のために、住民が、外部者に取組の企画・設計などの意志決定や取組の推進に係わってもらうことを必要とする場合もある。本セッションでは、地域に暮らしていくために、住民は、住民同士や外部者とのネットワークをどう築いていくべきかを、コモンズ論や協治論やガバナンス論なども用いて議論したい。

【コーディネーター】奥田裕規（森林総合研究所関西支所）

【電話】075-366-9914

【電子メール】hironori@affrc.go.jp

## C テーマ「再生プラン後の森林管理・林業生産の変化と林業・山村」

【趣旨】 森林・林業再生プランはその評価が分かれるところであり、この春の林業経済学会シンポジウムにおいても活発に議論が行われた。本セッションでは、再生プラン後の日本の森林・林業の姿をタイムリーに描き出すため、現時点での各地の事例を全国的かつ俯瞰的に把握する。具体的には、集約化が進む素材生産業、変貌する原木市場、大型化が加速する製材加工業等の要因による国産材生産流通体制の変化の実相を捉えるとともに、山村活性化の現状をみる。さらに、国有林が果たしている役割についても分析し、事実を共有した上で議論を深めたい。

【コーディネーター】 高橋卓也（滋賀県立大学）

【電話】 0749-28-8329

【電子メール】 tak@ses.usp.ac.jp

